第２学年　国語科　学習指導案

本時の主張

本単元では，昔話の大好きな場面を一人一人が選んで音読発表する学習活動を行う。人物の行動や気持ちを読み取りながら，場面の様子が伝わるように気持ちを込めて音読ができるようにしたい。多くの児童が，毎日音読を行っているが，気持ちを込めて音読できる児童は少ない。本時は，「かさこじぞう」の第３場面，じいさまが地蔵様にかさをかぶせる場面を読み取っていく。じいさまの優しさが表れている行動を一人一人が文章から探したり，考えたりする。その後，全体で考えを交流し，じいさまの優しさが表れている文に注目して動作化したり，前の場面に戻って考えたりしてじいさまの優しいところについて深く考えていく。音読は，授業の最初と最後に２回行う。２回目の音読では，第三場面の中で好きなところを一人一人に選ばせ，じいさまの優しさが伝わるように音読させたい。その際，ペアの友達に音読を聞いてもらうことにする。友達の音読の姿も見ながら音読の力を高めていけるようにしたい。

１　単元名　「かさこじぞう」

２　単元のねらい

〇昔話を進んで読み，音読しようとしている。【関心・意欲・態度】
〇人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら読むことができる。【読むこと】
〇場面の様子が伝わるように音読することができる。【読むこと】
〇昔話のおもしろさや昔話特有の語り口調や言い回しに気付くことができる。
【言語についての知識・理解・技能】

３　単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識･理解･技能
・昔話を進んで読み，大好きな場面を友達に紹介したり，音読したりしようとしている。	・人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら読むことができる。 ・「かさこじぞう」やいろいろな昔話の場面の様子が伝わるように，気持ちを込めて音読することができる。	・昔話のおもしろさや昔話特有の語り口調や言い回しに気付くことができる。

４　単元と指導の構想

（１）児童の実態

学級には、読書好きな児童が多い。音読練習は，多くの児童が家庭学習で毎日行っている。しかし，場面の様子を考えながら気持ちを込めて音読ができる児童は少ない。読むことについては，これまでの学習で登場人物の行動，気持ちなどが分かるところにサイドラインを引きながら，読み取りを行ってきた。進んで取り組むことができる児童が多いが，なかなか自分から取り組むことができない児童もいる。

（２）指導の構想

①　読んだ昔話を記録する

学級でいつでも昔話が読めるように昔話コーナーを設置する。昔話を読んだら、カードに題名と評価（◎，○，△）を書いて記録していく。

②　大好きな場面を音読する

単元を通して、音読を重視する。単元の前半では，「かさこじぞう」の大好きな場面を音読する。単元の後半では，並行読書で読んだ昔話の中から大好きな場面を選んで音読する。「かさこじぞう」での音読の学習を生かして，場面の様子が伝わるように音読練習を行っていけるようにしたい。最後は，同じ昔話を選んだ人でグループを作り，音読発表を行う。

③　音読に生かせる学習課題を設定する

「かさこじぞう」では，大好きな場面として多くの児童が選んだ場面を全体で深く読み取っていく。読み取りを深めるために，人物の行動，行動の理由，背景にあるものなどを考える学習課題を設定する。読み取りを行う時には，その場面のことだけを読み取るのではなく，前の場面に戻って読んだり，物語全体を通して読んだりしたい。その読み取りを生かして場面の様子が伝わるよう気持ちを込めて音読ができるようにしていく。

（３）特別な支援を要する児童への手立て

集中して考えることが苦手な児童には，声を掛けて途中まで一緒に課題を考える。また，音読するところは，児童の教科書を指し示す。

５　単元の指導計画（全１５時間　本時８／１５時間）

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評価			
		関	読	知	評価規準
1	○昔話の読み聞かせを聞き，昔話への興味や関心をもつことができる。 ・昔話を読み，大好きな場面を紹介する。 ・いろいろな昔話を読んで，大好きな場面を音読発表するという学習の見通しをもつ。	○			興味，関心をもって昔話を聞くことができる。
2	○「かさこじぞう」を聞き，初発の感想を書いて交流することができる。 ・「かさこじぞう」の CD を聞く。	○			初発の感想を書いて交流することができる。
3	○昔話特有の語り口調や言い回しに気付くことができる。			○	昔話特有の語り口調や言い回しに気付くことがで

	・昔話の話し方を考える。				きる。
4 5 6	○５つの場面に分け、それぞれの場面を想像しながら読むことができる。 ・時や場所に着目して全体を５場面に分ける。 ・それぞれの場面を音読する。 ・難しい言葉の意味を絵や写真で確認する。		○		難しい言葉に注意して場面の様子を想像しながら読むことができる。
7	○大好きな場面を選び，紹介することができる。 ・第３，４，５場面をそれぞれ２つに分け，全部で８つの場面の中から大好きな場面を選ぶ。 ・大好きな場面と選んだ理由を紹介する。		○		大好きな場面を選び，場面と選んだ理由を紹介することができる。
8 **本時**	○第３場面を読み，じいさまの優しい行動を読み取ることができる。 ・じいさまの優しい行動を読み取る。		○		大事なかさを地蔵様にかぶせたじいさまの優しさを読み取ることができる。
9	○第４場面を読み，楽しく年を越そうとするじいさまとばあさまの様子を読み取ることができる。 ・餅つきのまねごとをするじいさまとばあさまの気持ちを考える。		○		餅がなくても楽しく年を越そうとするじいさまとばあさまの様子を読み取ることができる。
10	○第５場面を読み，地蔵様の様子を読み取ることができる。 ・地蔵様が品物を届けた理由を考えたり，ばあさまの優しさを読み取ったりする。		○		地蔵様の様子や感謝の気持ちを読み取ることができる。
11	○「かさこじぞう」の大好きな場面を音読することができる。 ・班で大好きな場面の音読発表を行う。		○		場面の様子が伝わるように音読することができる。
12 13	○いろいろな昔話を読むことができる。	○		○	進んで昔話を読もうとしている。
14	○音読する昔話を決め，音読の練習をすることができる。		○		好きな場面を選び，進んで音読しようとしている。
15	○大好きな場面を音読することができる。 ・同じ昔話を選んだ人でグループを作り，大好きな場面の音読発表をする。		○		場面の様子が伝わるように音読することができる。

６　本時の指導（８時間目／全１５時間）

（１）ねらい

「かさこじぞう」の第３場面について，じいさまの行動に線を引いたり，前の場面に戻って考えたりすることを通して，じいさまの優しさを読み取ることができる。

（２）本時の構想

①じいさまの優しさが表れている文にサイドラインを引く。

学習課題「じいさまのどんなところが優しいのだろうか」を考えるために，最初にじいさまの優しさが表れている文にサイドラインを引かせる。一人一人にじいさまの優しい行動に着目させ，自分なりの考えをもたせたい。

②児童が説明したくなる発問をする。

じいさまの優しい行動として，「売り物のかさを地蔵様にかぶせたところ」や「自分のつぎはぎの手ぬぐいをかぶせたところ」が挙げられると考えられる。そこで，「売れ残ったかさやつぎはぎの手ぬぐいはいらないからあげたのではないか。」と問い，前の場面に戻り，貧しい生活をしていることやかさは生活していくために最後のお金になる大切なものであるといったような発言が児童から出てくることを期待したい。

（３）本時の展開

時	学習活動 Ｔ：教師の働き掛け　Ｃ：児童の学習活動・反応	・留意点　◇全体の支援 ◆個別の支援　□評価
５	１　３の場面を音読する。 Ｔ１　３の場面を音読してみよう。	・一斉にそろえて音読する。
２０	２　学習課題を立て，じいさまの優しさが表れている行動を読み取る。 Ｔ２　３の場面を（大好きな場面に）選んだのは，なぜですか。 Ｃ１　じいさまが優しいからです。 じいさまのどんなところが優しいのだろうか。 Ｔ３　じいさまが優しいことが分かるところに線を引きましょう。どこに線を引きましたか。 Ｃ２　「おお，気の毒にな。」と言っているところです。 Ｃ３　「地蔵様のおつむの雪をかきおとしました。」のところです。 Ｃ４　「地蔵様の肩やらせなやらをなでました。」のところです。 Ｔ４　なぜこの文が優しいと思ったの。 Ｃ５　じいさまが，雪の中にいるお地蔵さまを寒そうだと心配したから優しいと思いました。 Ｃ６　じいさまも寒いのに地蔵様のことをなでているから優しいと思いました。 Ｔ５　隣の人とこの部分をやってみよう。（動作化） Ｃ７　「売り物のかさを地蔵様にかぶせる」ところです。 Ｃ８　「じいさまは，自分のつぎはぎの手ぬぐいをとると，いちばんしまいの地蔵様にかぶせました。」というところです。 Ｃ９　「おらのでわりいが」と言っているところです。	・ワークシートを配る。 ◇じいさまの優しさが表れている文にサイドラインを引かせる。 ◆一人で読み取れない児童には，途中まで一緒に読み，一文は見付けられるようにする。 ・拡大した文章に線を引いていく。 ・線を引いたところが優しいと思う理由を問い返す。 ・場面の様子を考えさせ，動作化しながら音読させる。

	T6　でも，かさは売れ残りだし，手ぬぐいはつぎはぎがしてあるし，いらないものをあげたんじゃないのかな。 C10　じいさまはびんぼうだから，かさも手ぬぐいも大事なものだと思います。 C11　かさは，売るものがなくて，ばあさまと一緒に作った大切なものです。 C12　かさを売ったお金でお正月のものを買わないといけないから大事な物です。	・前の場面に戻って，かさはじいさまにとってどんなものなのかを考えさせる。
5	3　まとめをする。 T7　じいさまは，その日暮らしていくのがやっとなほど貧乏なのに，大切なかさを地蔵様にかぶせてあげたんだね。 まとめ じいさまの優しいところ ①寒い中、お地蔵様の雪をおとしてあげたところ ②大切なかさや手ぬぐいをお地蔵様にかぶせたところ	
１０	4　じいさまの優しさが伝わるように音読する。 T8　じいさまの優しさが伝わるように，3の場面から好きなところを選んで音読しましょう。隣の人にどこを読むか伝えて聞いてもらいましょう。聞いた人は，じいさまの優しさが伝わったかどうか，話しましょう。	・ワークシートに音読するところに印を付けさせる。 ・ペアの人に聞かせる。気持ちを込めて読めている児童に音読させる。
5	5　振り返りをする。 T9　今日の学習を振り返りましょう。3の場面を読んで，じいさまの優しいところをたくさん見つけたけれど，（線を引いた中で）一番優しいと思ったことろを書きましょう。理由も書きましょう。 C13　じいさまが，地蔵様にかさをかぶせてあげたところが優しいと思いました。びんぼうなのに売り物のかさをかぶせてあげたからです。 C14　じいさまが，地蔵様の雪をかきおとしたところが優しいと思いました。じいさまも寒いのに，地蔵様のことを大切にしていたからです。	・振り返りに書く内容を提示する。 □じいさまの優しい行動を読み取り，ワークシートに書くことができたか。

（4）本時の評価

・ワークシートの記述で評価する。

・じいさまの優しい行動を読み取り，優しいと思ったところを書くことができたか。

＜B 評価の記述例＞

・地蔵様のかたやせなかをなでてあげたところが優しいと思いました。

・地蔵様にかさをかぶせてあげたところが優しいと思いました。

7　参考文献・資料

・小学校学習指導要領解説　国語編，文部科学省
・新しい国語　教師用指導書　研究編